
不人気の主人公に選ばれました

啄木鳥続樹 (きつつきつつき)

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

不人気の主人公に選ばれました

【Nコード】

N4172Z

【作者名】

啄木鳥つくも続樹つづき

【あらすじ】

『おめでとつ。あなたは一等賞にとりました。』この言葉から始まり、『あなたは今からある人物として生きてもらいます。』そしてそれが続き、その人物は凶悪殺人犯でしかも『不人気魔法の小さくなる』が使えます。最後に言う言葉は『第二の人生がんばってね』ザワザワ『？この話は小さくなるときが多いのであんまり人と接することがないので友達はすくなくいです。後恋も無縁です。』

位置と位置関係 (前書き)

この小説をひらいてくれてありがとうございます。

位置について〜よい

『おめでとう!!!!!あなたは一等賞選ばれました!!!!』

見た事ない物体がいた。顔もないが何かむかついたのではたいてや
った。

『痛い。何するんだ。』

何だこれあたるのか。もっと殴ろう

『だから痛いってもういいって。本当にやめてくれ』
声が男だからむかつき度がアップ。

「むかついたので殴った。とうか殴らせる。」

『とつくに殴ってるだろ!もう何でこいつが一等賞をとったんだ…
ブツブツ』
ぐちぐちうるせなあ

「あああん?何か言ったか」

『言ったよ。今君に置かれてる状況分かるかい?』

「何の事だ?」

言われて回りを見ると白い空間があり近くに扉があった。

『今からある人物の姿になってそこで第二の人生を送るんだ。』

「お前を倒せばか！！？？ならお前をころ……チツ……」

『待て、待て。違う。今からある人物になつてもらう。あ、お前チツつてしたな。よしお前にはエロ本が逃げる病気をやるう。』

「どんな病気だよ！！！糞にもほどがあるだろ。」

『（やっぱりおどすと何も無いな。）よし簡単に言うぞ。今からこの死んでるやつにお前をつめるからそこから生きてこい』

「本当に簡単なアバウトだな。というかそこから何をするんだ？生きるだけじゃ意味がないだろう。」

『こいつの過去に何があつたか見つけてくるんだ。』

「はああ？」何言つてんだ？こいつ

『お前にはこいつが何で死んだか…嫌何でこんなところにいるかを見極めてこい。』

「はあ？おいどついう事か教えるよ……」

うん？何か聞こえる……

たかし〜ごはんよ。はやくおりてきなさい〜

『ママ待つて〜もう少しだから。』

おいおい俺本当に死んでるのか？

あら返事がない。あらまた女のサンダルがあるはまた出会い系サイ

トで女を集めたのかしら。これはお父さんに相談しなきゃ

「…………お前御愁傷様だな。」

『殴ると思つたら逆に来ないって怖いよ。まあいい。早く終わらすよ。一応君には使える魔法を送つてる。この神様が直々に選んだからな。』

「タカシクンカッコイイだね。」

『ええへん。俺は（ボコッ殴られる音）一樣いろいろつけたから大丈夫だよ。体力強化とか魔法強化とかだいたいスペックは高くしてるから。』

「不死とかあるのか？あとはハーレムとか人心掌握とか」

『それはない。そんな外道なことさせたら目的が失うだろ？まあいろいろなことが多いからな。属性とかもあるけど実際にあっちゃんいろいろな属性があるからそこからいろいろ学べはいいだろ。ああ詠唱時間とかも短くしてるからだいたいぶ強いと思うよ。あと俺のお気に入りの魔法を入れておいたから。』

「それって？…………」

タカシ！！！！また女を呼んだか！！自分の同級生と言ってるけどあれはもう三十路か二十歳だろ。お前には一人部屋は駄目だ。今日から私達と寝なさい。早くあけないとあけるぞ。

『これはやばいな。ほらそのダンスに入って。』

「おい結局何の魔法だよ。おい！！」

そんな答えも帰ってこずタケシクンは親との弁解に行ったようだ。

まあどうでもいいか
無理矢理ダンスをあげたら……女共がいた。

「はいこちらですね。」

「私のキスはいかが？」

「鬼いちゃん……お荷物ちゃ

んあそぼ。」

「今日はどれにする？わたし？・私かな？・わたしを選べげすが……！！！」

まだいたがどうでもよかった。「はやく行かせる。俺は生きたんでね。」

「分かりました。こちらです。（ガチャっつぽつぽにアタック）

「

「何だ？うつうつ。何をした……気持ちいい……」
背中にチクチクしたが気持ちよすぎる……

「ただ針を入れただけですよ。入り口はトイレって言われて入る人はいないですからね。ごめんこうむります。」

何か流れる音がしたがまあいいか。ただ周りに黒い固まりが見えるのは気のせいだろうか……

位置について（後書き）

ここまで読んでくれてありがとうございます。これからも応援よろしくお願いします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4172z/>

不人気の主人公に選ばれました

2011年12月14日14時01分発行